

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 4月 20日

事業所名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	庭や静養室など利用し窮屈にならないようにしている。	事業所の移転も含め検討していく。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0%	100%	室内やトイレはすべてバリアフリーである。	室内はバリアフリーになっているが、玄関に段差がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	ミーティングなどを通し、職員同士が話し合う機会を設けている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		1年に1回実施している。また、懇談会など個別に行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	HP掲載している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		検討している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	89%	11%		外部研修の情報周知と内部研修を積極的に行っていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	半年に1回面談、アセスメントを行い作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	担当を決め行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	長期休暇を利用したプログラムなどを実施している。	今後も子どもたちや保護者の方の意見、要望をくみ取りながら実施していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	個別課題や集団活動などバランスよく取り入れている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	申し送りや日報記入を行い、共有できるようにしている。	今後も左記えをはじめ、ミーティングや様々な方法で情報は共有できるよう努力していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	半年に1回実施。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児童発達管理責任者、または精通している職員が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	手紙やHPの閲覧、また送迎時などに直接確認している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	22%	67%		実績なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	11%	89%	相談支援専門員の方からの情報提供、情報共有しています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	67%	0%	全員では無いが行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	89%	11%	参加できる研修には参加し、助言や施設訪問なども受けています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		他の放課後等デイサービス事業所と連携し、合同イベントを企画実施するなど行っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	67%	0%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎時や懇談会を開催するなどし、共有できるようにしています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	22%	78%		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	夏祭りや参観、クリスマス会など定期的に開催をしています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	月に1回月初めにおたよりを作成し、配布しています。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	書面や直接訪問など工夫して行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		今後、交流会やイベント実施時に近隣の方にも参加して頂ける方法を考慮していきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	56%	44%		BCPはじめ作成はしているが、現段階では保護者の方全員まで周知出来ていない。今後、周知していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11%	89%		定期的には実施できていないので、今後は定期的にも実施できるようにしていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	89%	11%	事業所内外の研修を実施している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0%	100%		該当者なし。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	78%	22%	保護者様から詳細にお聞きし対応しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	56%	44%		作成したヒヤリハット事例を職員全員に周知できるよう工夫、徹底し同じ事例が起きないように徹底していきます。